

事務事業マネジメントシート

事務事業名	文化芸術講演会開催事業				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	ひとを育てる・守る			所属部	教育委員会	所属課	生涯学習
施策名		文化・芸術活動の充実			所属係	社会教育・体育担当	課長名	津田 智宏
関連施策名					担当者名		電話番号 (内線)	576-2111 323
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 17 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)				
(事業内容)文化芸術に触れる機会を提供することで市民の関心を高め、教育、学術及び文化の向上普及を図ることを目的に、NHKと共催し、博物館・美術館等の方にお越し頂き、NHK主催展覧会に関連した講演会を行う。 (業務内容)①NHKとの事業交渉②会場準備③参加者募集④広報⑤資料作成⑥当日受付⑦実績報告						総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	
									都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
		事業費計(A)		0						
	人件費	正規職員従事人数								
		延べ業務時間								
		人件費計(B)		0						
		トータルコスト(A)+(B)		0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
24年度実績(24年度に行ったおもな計画)
東京都美術館特別展「エル・グレコ」展関連講演会実施

25年度計画(24年度に計画している主な活動)
年2~3回講演会を実施予定

② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
市内在住の方(在勤・在学および近隣市の方も申込み可)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
講演会に参加したのち、展覧会に出向くことにより、参加者の文化芸術に対する関心を高めることができる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)
教育、学術及び文化の向上による、文化・芸術活動の充実

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 開催回数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 参加者数	人
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア	
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	年度	
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(決算見込み)	(当初予算)	(最終目標)	
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円							
投入量	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	1	2	1	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	10	50	30	50	30	30	
	正規職員人件費計(B)	千円	50	250	150	250	150	150	
	再任用職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	再任用職員人件費計(C)	千円		0	0	0	0	0	
	嘱託職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	嘱託職員人件費計(D)	千円		0	0	0	0	0	
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	50	250	150	250	150	150	0	
トータルコスト(A)+(E)	千円	50	250	150	250	150	150	0	
活動指標	ア イ ウ	回	0	1	1	2	1		
対象指標	ア イ ウ	人	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	
成果指標	ア イ ウ	人	0	131	131	380	158		
上位成果指標	ア イ ウ								

事務事業名	文化芸術講演会開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習
-------	-------------	-----	-------	-----	------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成17年度より、NHKよりの申し出により実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
申込者数について、展覧会の内容により偏りがみられるが、開始時期と比べて安定してきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特に意見・要望はない

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 多くの市民に文化・芸術にふれる機会・場を提供することは、基本計画・施策にもこまれていることであり、行政が行う事業として妥当である。
	② 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 普段文化芸術に触れる機会の少ない方たちにも、広報などを工夫することにより効果的な周知をすることで、参加者数を増やす。
有 効 性 評 価	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 文化・芸術に触れる機会が減る。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) くこたち文化・スポーツ振興財団で各種事業を行っている <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市で企画ができないものをNHKと共催で行うことにより、広報と当日業務のみで開催できる。
効 率 性 評 価	⑤ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市としての事業費の負担がないので削減の余地がない
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の時間で行っているので削減の余地がない
公 平 性 評 価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内在住(・在勤・在学および近隣市)の方であればどなたでも参加できる

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>① 公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>講演会の構成として、研究員等である講師が絵画鑑賞のポイントをわかりやすく解説した後、質疑応答の時間を設けている。招待券の配布や、参加者から多くの質問が寄せられ、展覧会に携わってきた講師が丁寧に回答するなど、参加者の満足度が高い事業だと思われる。</p> <p>事業実施の成果を参加者数で図りがちであるが、参加者が、「実物」を間近にすることで、展示物の周辺にある、歴史・ひと・環境への理解を深め、自らの感性を磨く良い機会となっている。継続的な開催により、文化・芸術に対する市民意識の向上に繋げていきたい。</p>

<p>(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>普段文化芸術に触れる機会の少ない方たちにも、広報などを工夫することにより効果的な周知をすることで、参加者数を増やす。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成 果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

参加者の年齢による偏りがあるため、若い世代にも参加していただけるように工夫していきたい。

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート

事務事業名	芸小ホール市民文化芸術振興支援事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	ひとを育てる・守る		所属部	教育委員会	所属課	生涯学習
施策名		文化・芸術活動の充実		所属係	社会教育・体育担当	課長名	津田 智宏
関連施策名				担当者名		電話番号 (内線)	576-2111 323
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠 くにたち市民芸術小ホール条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)				
(事業の内容)コンサート・ミュージカル・能・落語等幅広い分野のイベント開催のほか、市民団体との共催による事業の実施。市民主催事業における、委託業者による音響・舞台演出等支援 (業務内容)①コンサート等主催事業企画立案、②演者・講師・指導者・協力者等交渉および依頼、③事前打合せ、④広報関係業務(ポスター、ちらし等)、⑤会場設営・案内等、⑥利用者への指導・助言(予算内訳)補助金						総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	
									都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
						事業費計(A)	0			
						人件費	正規職員従事人数			
							延べ業務時間			
							人件費計(B)	0		
							トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
① 手段(主な活動)		名称	
24年度実績(24年度に行った主な活動)		ア	事業数
自主・共催事業34事業を実施 入場延人数7,373人		イ	入場者数
25年度計画(25年度に計画している主な活動)		ウ	
24年度と同程度			
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
市民		名称	
		ア	人口
		イ	
		ウ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
文化・芸術により多く触れることで、より豊かな人間性を涵養		名称	
		ア	入場者数
		イ	
		ウ	
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		(8) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
文化・芸術活動の充実		名称	
		ア	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (決算見込み)	25年度 (当初予算)	年度 (最終目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	14,951	15,295	14,420	15,061	14,500	14,500	
		事業費計(A)	千円	14,951	15,295	14,420	15,061	14,500	14,500	
	投入量	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10
			正規職員人件費計(B)	千円	50	50	50	50	50	50
			再任用職員従事人数	人						
延べ業務時間			時間							
	再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0		
	嘱託職員従事人数	人								
	延べ業務時間	時間								
	嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	50	50	50	50	50	50		
	トータルコスト(A)+(E)	千円	15,001	15,345	14,470	15,111	14,550	14,550		
活動指標		ア	件	32	32	34	37	34		
		イ	人	9,375	9,518	9,129	9,254	7,373		
対象指標		ア	人	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	
		イ								
成果指標		ア	人	9,375	9,518	9,129	9,254	7,373		
		イ								
上位成果指標		ア								
		イ								

事務事業名	芸小ホール市民文化芸術振興支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和62年11月開館に伴い始まった

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
特になし

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
意見・要望はない

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関 与 性 評 価	① 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 第1期社会教育委員の会答申に基づく施設設置および運営にあたる財団設置目的から、事業の実施は妥当であり、且つ自治体設置であることから、市の支出も妥当である。
	② 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 最も問題となるのはホール稼働率と集客率だが、人口規模・施設設備内容・立地条件・席数から、開催イベントは、チケット価と出演料との兼ね合いなど相当な制約を受ける。施設は多目的にコンパクトなつくりではあるが、その分観客に「非日常」を満喫させるには、視覚的にも聴覚的にも不十分であることは否めないが、企画部門に専門のディレクターが雇用され、「ランチタイムコンサート」など新たな試みの中から、ホールへの関心を高め、集客へつながる可能性がある。
有 効 性 評 価	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市民が文化芸術に触れる機会が減ってしまうため、市民にとって有益ではない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない
効 率 性 評 価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 効率的に行っている
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者に委託している(協定による)
公 平 性 評 価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 だれもが利用でき、公平・公正である

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>① 公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>ホールでのイベントは客席数と対価との関係で、相当の制約を受けるものの、「小ホール」ならではの企画に工夫がみられる。また、地下階のスタジオでは、毎回好評の「スタジオ寄席」に加え、年ごとのテーマに沿った若手演奏家によるスタジオコンサートがシリーズで実施され、「気軽に」本物を楽しめる機会となっている。</p>

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート

事務事業名	芸小ホール管理運営事業				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	ひとを育てる・守る			所属部	教育委員会	所属課	生涯学習
施策名		文化・芸術活動の充実			所属係	社会教育・体育担当	課長名	津田 智宏
関連施策名		担当者名			電話番号	576-2111		
					(内線)	323		
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠 くにたち市民芸術小ホール条例		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入			
					(開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 館の管理運営に係る事業 (業務内容) 1. 建築物保守管理業務、2. 設備機器管理業務、3. 清掃業務、4. 保安警備業務、5. 外構及び植栽管理業務、6. 環境衛生管理業務、7. 廃棄物処理業務 8. 施設(ホール・スタジオ・ギャラリー・音楽練習室)利用受付業務 9. 利用料金徴収・還付業務 10. 各種案内業務 平成21年度に舞台照明装置の一部(調光卓)をリース交換(平成26年度末まで) (予算内訳) 管理料・使用料 H21.4.1~H26.3.31まで、特定指定管理者(くにたち文化・スポーツ振興財団)と基本協定を締結した。									
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金						
			都道府県支出金						
			地方債						
			その他						
			一般財源						
			事業費計(A)	0					
人件費			正規職員従事人数						
			延べ業務時間						
			人件費計(B)	0					
			トータルコスト(A)+(B)	0					

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
24年度実績(24年度に行った主な活動)	名称 単位
施設維持管理及び運営事業	ア 委託件数 件
25年度計画(25年度に計画している主な活動)	イ 施設利用件数 件
24年度と同じ	ウ 施設利用者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
芸術小ホール施設	名称 単位
芸小ホール利用者	ア 施設面積 ㎡
	イ 人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
芸術小ホールを安全・快適に利用できるようにする	名称 単位
	ア 修理件数 件
	イ 施設利用件数 件
	ウ 利用者数 人
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
文化・芸術活動の充実(芸術小ホールの利用が増える)	名称 単位
	ア
	イ
	ウ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(決算見込み)	25年度(当初予算)	年度(最終目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	45,445	60,990	63,575	64,047	60,625	61,250	
		事業費計(A)	千円	45,445	60,990	63,575	64,047	60,625	61,250	0
	投入量	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	10	30	30	30	30	
			正規職員人件費計(B)	千円	50	150	150	150	150	0
			再任用職員従事人数	人						
再任用職員人件費計(C)			千円	0	0	0	0	0	0	
	嘱託職員従事人数	人								
	延べ業務時間	時間								
	嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	50	150	150	150	150	0		
	トータルコスト(A)+(E)	千円	45,495	61,140	63,725	64,197	60,775	61,250	0	
活動指標	ア	件	28	26	25	28				
	イ	件	1,547	1,551	1,445	1,583	1,560			
	ウ	人				74,458	65,852			
対象指標	ア	㎡	3,217	3,217	3,217	3,217	3,217	3,217		
	イ	人	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381		
成果指標	ア	件	39	24	19					
	イ	件	1,547	1,551	1,445	1,583	1,560			
	ウ	人				74,485	65,852			
上位成果指標	ア									
	イ									
	ウ									

事務事業名	芸小ホール管理運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和62年11月開館に伴い維持管理が必要となった

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
特になし

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
意見・要望はない

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	① 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市の施設であるため、維持管理は市の責務である
	② 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 設備機器等に開館当初から使用しているものがあり、交換の必要がある。
有 効 性 評 価	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 法令で規定されているものおよび、施設維持に係るものなので廃止・休止できない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効 率 性 評 価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 竣工から20年がたつことから、今後増加が見込まれる
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理事務処理にかかる人件費で、削減できない
公 平 性 評 価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 維持管理は芸術小ホールすべてを対象としており、公平・公正である

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>① 公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>竣工から25年近くが経過することから施設の総点検が必要である。また、照明・音響機器ともに老朽化による不具合が多発するとともに、火災発生等の危険性も高まっている。設置当初のグレードの回復および安全な使用環境の担保のためにも、老朽化した設備機器の交換が必要である。</p>

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上			○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	くにたち市民文化祭開催事業				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業												
政策名	総 計 画 体 系	ひとを育てる・守る			所属部	教育委員会	所属課	公民館									
施策名		文化芸術活動の充実			所属係		課長名	石田 進									
関連施策名					担当者名		電話番号 (内線)	(572) 5141									
予算科目		会計 一般	1	0	8	2	0	1	5	7	6	0	0	事業コード	法令根拠	社会教育法、公民館の設置及び運営に関する基準	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度一全体計画の投入量を記入				(開始年度 昭和31 年度 ~) (年度 ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)				
<p>くにたち市民文化祭は、昭和31年に公民館の呼びかけによって始められました。以後毎年4月に市民が実行委員会を結成し、参加サークルを募り10月から12月にかけて、市内公共施設(公民館、福祉会館等)を使用して、自分たちのサークル活動の成果を発表しています。公民館は事務局として、会場確保(申し込みを含む)・設営、消耗品購入、印刷物の製作、物品の搬送、記録集の刊行等の支援を行っています。参加サークルは、芸術、芸能を中心に国際交流、市民活動など多岐にわたっています。課題としては、参加サークルが定着化してきており、新規参加の促進を図る必要があること、公民館以外の会場使用について、今後利用料金が発生することが考えられるため、その予算の検討が必要になることがあります。本事業は、あくまで市民のサークル同士が成果を発表する中で交流することを目指し、人間関係を豊かにして、地域社会の文化活動を活性化することにあります。</p>													総 投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金		
															都道府県支出金		
															地方債		
															その他		
															一般財源		
															事業費計(A)	0	
正規職員従事人数																	
延べ業務時間																	
人件費計(B)	0																
人件費計(A)+(B)	0																
トータルコスト(A)+(B)	0																

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

24年度実績(24年度に行った主な活動)

予算計上、市民文化祭実行委員会立ち上げ呼びかけ、実行委員会開催、参加サークル集約、会場確保、消耗品購入・配布、合同イベント開催、開催式典実施、反省会開催、記録集編集・発行

25年度計画(25年度に計画している主な活動)

24年度に準じる

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

日常的に文化・芸術活動、芸能活動、市民活動を市内を中心に展開している市民サークル

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

サークル間の交流を活発に行うようになる

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

市民が、文化・芸術活動に親しむ。文化活動等に参加してみたいと思う市民と、既存のサークルを結びつける。自分たちでサークル活動ができる機会を提供する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 実行委員会開催回数	回
イ 会場使用数	会場
ウ 文化祭開催日数	日

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 市民サークル数	団体

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 参加団体・サークル数	団体
イ 新規参加サークル数	団体

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合	%
イ 過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	年度	
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(決算見込み)	(当初予算)		(最終目標)
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	533	558	543	553	525	562	
	事業費計(A)	千円	533	558	543	553	525	562	0
投入量	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	2	1	
	延べ業務時間	時間	76	76	76	122	242	242	
	正規職員人件費計(B)	千円	380	380	380	610	1,210	1,210	0
	再任用職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員従事人数	人					1	1	
	延べ業務時間	時間					228	228	
	嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	381	381	0
	人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	380	380	380	610	1,591	1,591	0
トータルコスト(A)+(E)	千円	913	938	923	1,163	2,116	2,153	0	
活動指標	ア 回	4	4	4	4	5	5		
	イ 会場	153	150	137	147	215	215		
	ウ 日	52	59	64	58	58	58		
対象指標	ア 団体	492	514	499	504	509	509		
	イ 団体								
成果指標	ア 団体	25	24	27	28	18	18		
	イ 団体	1	1	1	3	1	1		
上位成果指標	ア %								
	イ %								

事務事業名	くになち市民文化祭開催事業	所属部	教育委員会	所属課	公民館
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 町政5周年と公民館開設1周年を記念し、昭和31年11月に開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 実行委員会参加団体・サークルの構成委員が高齢化しており、参加団体も固定化している。本事業は、H17年度まで(財)くになち文化・スポーツ振興財団からの補助金にて運営されてきた。H18年度以降公民館予算内にその費用が組み込まれ、すべて通常の予算執行と同様の手続きとなり、参加団体の要望などの集約に時間がかかっている。また、今後は、芸術小ホール、福祉会館などの施設使用についての費用が掛かる可能性もあり、その場合予算措置が必要となる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 実行委員会参加団体から、自由に費用を使えるよう予算措置を望む声があったが、勝手に予算を流用することは不可能だとの説明をしている。また、各団体・サークルによる費用の自己負担が多いため、会場等の費用負担が生じた場合、継続が難しくなる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評価	① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 各文化芸術関係団体を一同に集め、実施する場合、広報から会場の確保(優先的確保)、消耗品購入等多くの負担があり、継続的に実施していくには困難な状況がある。以前は、財団からの補助を受けていたことから、公民館の関わりは深かったが、なかなか自立できない状況もある。
	② 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 団塊の世代の地域への取り込みを積極的に行うことにより、参加団体の高齢化に歯止めをかけることが期待できる。しかし、現状の参加団体の中には、長年活動してきていることにより既得権を主張し、自分たちの団体を優先に考える思いの強いものもある。よって、世代の交代や新規参加団体の増加により向上の余地もある。
有効 性 評価	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 さまざまな団体・サークルが一同に会する年1回の場であり、人とのつながりや自主的な文化・芸術活動の一部が排除されると影響は大きい。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業の情報が十分でないので、統廃合・連携できない。
効率 性 評価	⑤ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 各団体の厳しい運営状況があり、削減の余地がない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現状の最低限の業務時間で事業を行っているため削減余地はない。
公平 性 評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民サークル全てを対象としており、公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	参加団体においては、後継育成・世代交代への対応が難しく高齢化が進んでいることも否めない。今後は、多くの新規団体参加を図り、参加対象を拡大し、また事業の活性化を図ることも念頭に入れる必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

廃止 休止 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

これまで57回を数えた文化祭の参加団体とその活動内容は、安定し多くの市民に知られてきた実績がある。しかし、一方では、団体の世代交代が進まず、新しい参加団体もいまだ多いとはいえない。よって、今後は更に各団体の活発な活動と新規参加を促す方向で実施したい。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
低下				

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

新しい団体の参加については、広報の改善や呼びかけが重要であるが、新しい団体が参加するための魅力ある新たな文化祭の形態の追求(参加団体間の交流など)もしくは、新たな企画(文化・芸能の講座など)を盛り込むなど、毎年参加している団体の意見と協力を仰ぎながら検討していく必要がある。そこから事業の拡大、活性化、効率化が進むと思われる。